平成 30 年度【全体】教育課程検討委員会のまとめ（目指す児童生徒像及び学部教育目標一覧表）

教育課程検討委員会

◎段階的、一貫性及び系統性（小 ⇨ 中 ⇨ 高 ⇨ 【卒後】）つながりがある教育課程の編成と実践

1　学校教育目標　「地域で、自分らしく生きる人を育てる」

2　校訓　「明るく」「元気に」「呼人で学ぶ」

3　目指す児童生徒像　（1）意欲にあふれ積極的に学ぶ児童生徒【知】　（2）心豊かで仲良く明るい児童生徒【徳】
（3）元気でねばり強い児童生徒【体】　（4）持てる力を高め、自立を目指す児童生徒【知、徳】

＜平成 31 年度 児童生徒に付けたい力及び学部の教育目標【案】＞

	小学部	中学部	高等部	訪問学級
児童生徒に付けたい力 （卒業までに付けたい力） （目指す児童生徒像）	1 学ぶ経験を積み重ね、いろいろなことに興味を持って取り組む児童【知】	1 学ぶ習慣を身に付け、意欲的に行動することができる生徒【知】	1 積極的に学び、主体的に行動することができる生徒【知】	1 自分なりの方法で表出することができる児童生徒【知】
	2 表現方法を身に付け、集団に慣れることができる児童【徳】	2 適切なコミュニケーション方法について、理解することができる生徒【徳】	2 適切な言葉遣いや方法で相手と関わることができる生徒【徳】	2 人との関わりを通して、楽しく関わったり、自分の気持ちを表出したりすることができる児童生徒【徳】
	3 積極的に体を動かすことが好きな児童【体】	3 学校生活に必要とされる体力を身に付けることができる生徒【体】	3 基本的な生活習慣を身に付け、体調管理をすることができる生徒【体】	3 それぞれの障害の実態に合わせた活動を行うことができる児童生徒【体】
	4 自分なりの方法で気持ちを伝え、相手と関わることができる児童【知、徳】	4 自分の気持ちや考えを表現し、相手の気持ちを知ることができる生徒【知、徳】	4 自己理解を深め、自分のことは自分でできる生徒【知、徳】	4 人との関わりを通して、持てる力を生かすことができる児童生徒【知、徳】
※5 新規に重度重複の児童生徒の目標を設定【訪問学級を除く】	5 外界に興味関心を持ち、支援を受け入れながら生活のリズムを整える児童【重度】	5 いろいろなことに興味を持ち、自分の役割を知ることができる生徒【重度】	5 相手を受け入れ、自分の役割を自分なりの方法で担うことができる生徒【重度】	
学部の教育目標 （付けたい力を育成するための具体的な目標）	1 学習に取り組む際のルールを身に付け、身の回りのことに興味関心を持つことができる児童を育てる【知】	1 適切な学ぶ姿勢や態度を身に付け、意欲的に取り組むことができる生徒育てる【知】	1 自分で考え自ら取り組むことができる生徒を育てる【知】	1 それぞれの方法で表出、表現を行い、能力や個性を生かすことができる児童生徒を育てる【知】
	2 自分の気持ちを表現し、集団の中で相手と関わることができる児童を育てる【徳】	2 適切なコミュニケーション方法を理解し、身に付けることができる生徒を育てる【徳】	2 自分の気持ちを表現し、適切な方法で相手に伝えることができる生徒を育てる【徳】	2 人との関わりを通して受容したり、自分の気持ちを表出、表現したりすることができる児童生徒を育てる【徳】
	3 基本的な体の使い方を覚え、元気に体を動かすことができる児童を育てる【体】	3 基礎的な体力の向上のために、体を動かして取り組むことができる生徒を育てる【体】	3 社会的な自立をするために、基本的な生活習慣の定着と体力の向上に取り組むことができる生徒を育てる【体】	3 それぞれの持てる力及び教育的ニーズに合わせた活動を行うことができる児童生徒を育てる【体】
	4 自分のことを知り、相手の気持ちも知ることができる児童を育てる【知、徳】	4 自己理解を深め、相手の気持ちを考えることができる生徒を育てる【知、徳】	4 自己理解を深め、社会人になるために適切な態度や主体性を身に付けることができる生徒を育てる【知、徳】	4 人との関わりを通して、持てる力を生かすことができる児童生徒を育てる【知、徳】
※5 新規に重度重複の児童生徒の目標を設定【訪問学級を除く】	5 指導者や友達と豊かにかかわり、支援を受け入れながら生活のリズムを整えることができる児童を育てる【重度】	5 様々な体験を通じて興味関心の幅を広げ、自分の役割を意識することができる生徒を育てる【重度】	5 相手と豊かにかかわり、自分ができることを自分ができる方法で取り組むことができる生徒を育てる【重度】	

学校教育目標を基に各学部をつないで、段階的、一貫性及び系統性のある教育目標の設定